

一月十四日
於北大東島
行 事

- 一 全員陣地構築作業
 - 二 連絡船 鳴丸 〇八六 出港 一六四五 級港
 - 南島 大東丸 一五〇五 入港 一五〇〇 出港
 - 竹林大尉 坂本上等兵 岩張 (海軍砲積費)
- 本日、人員大隊長以下一〇三名(行方不明二回)早六八

一月十五日
於北大東島
行 事

- 一 全員陣地構築作業
 - 二 被服検査(第一日) 7 01A 7A 7B 6
- 早日令 一、 兵科見習士官 江連 徳

同日 山口珍 警備
同日 板倉玄 宗
同日 柴田文二 郎

任陸軍少尉 予備役三編入臨時召集ヲ命ス(以上二日土日附)
樹歩兵第三大隊隊附

第一回北大東島地内隊演習講評

戦備乙ヨリ甲ノ移行要領ニ就テ

情報速達訓練ニ就テ

一 概ネ其ノ要領ハ可ナル中心手廻セズニ移行ノ得ル如ク更ニ訓練スルヲ要ス
下令ヨリ移行完了迄ニ時間ヲ要スル現況ナリ

一 本部ヨリ各隊迄ノ各種傳達ハ概ネ迅速ナル成果ヲ見タルモ之ヲ実行ニ移ス迄ノ時間長時間ヲ要シ 要旨ヲ傳エ然ル後本文ヲ送達スルノ著意ニ乏シク時機ヲ失スル虞大ナリ 亦実行ヲ確認スルノ手段ヲ講ズルヲ要ス
本件ハ本職並ニ各隊命令受領者ニ注意スル處ニシテ平素ヨリ之ガ訓練ニ徹底スルヲ要ス

二 戦備下令後ニ於テ受話者ハ責任者ヲ定メ 一部指定シ置キ確實ヲ期スル如ク実施スルヲ要ス 亦電話口ニ出タラ 隊號・姓名(職)ヲ唱フル如ク平素ヨリ訓練兼シ置クヲ要ス
名ヲ聞キ責任者ト交代ヲ命サレ時間長ク時機ヲ失シ易ク
配備変更ニ就テ

一 夜間ノ機動ハ幹部交通線ニ依リ概ネ整齊ニ実施セラレタルヲ 靜肅ニ対スル幹部以下ノ觀念ヲ導シ夜間ノ指導者ト雖モ音聲ヲ發セテ如ク指導ス

ルノ著意ヲ要ス

一、自レ地ニ配属度更ハ概ニ確實ニ実施セルモ、他地已内ニ於ケル度更、將來演練スルヲ要ス。時ニ幹部ハ全島ノ陣地配属ニ徹シ在レヲ要ス。陸海軍部隊相互協同ニ就テ

一、命令ノ傳達、並ニ戰鬥開始後ノ指揮等ノ尚研究ヲ要スル点、少トモ、陣地交通諸施設ニ就テ

一、各隊長ノ痛感スル處ト信ズルモ、未ダ完壁トハミレ難ク、各種狀況ニ應ズル迄ニニマシムルニハ不充分ナル実多シ。交通施設、陣地砲

爆轟下ニ於ケル洞窟施設等ニ於テ然リ、砲爆轟下ニ於ケル壕窟施設等ハ長日時居ル事ヲ顧慮シ徹底ヲ期スルヲ要ス

中地已無煙幕ノ夜間火光防止設備ハ更ニ徹底スルヲ要ス

島民指導ニ就テ

一、概ネ各地ニ良好ニ実施セラレタルモ、警防組織ヨリ漏レタルモノアリテ若シテ然リ、今回ノ準備ニシテも準備ナシトモ整齊ニ実施出来得ル様訓練スルヲ要ス。亦協力方面ニ於テハ精神的協力ヲ要望ス

其ノ他

一、幹部以下進發ニ対スル関心極メテ薄シ、夜間ト雖モ、戰鬥ヲ散スルニ白晝化セラルヲ以テ、時ニ注意ヲ用フルヲ要ス（白崎隊ハ可ナリ）

一、既設陣地ヲ利用スル防禦戰鬥ハ未熟ナリ。徒ニ陣地ヲ捨テ出陣過早ニ流レ易シ。一層演練シ陣地ト相俟テ必勝ノ信念ヲ確立スルヲ要ス

一、要スルニ本演習ハ初回ナルニ鑑ミ、良キ体験ト要研究事項ヲ残シタルモ、各隊長以下ノ熱烈ナル努力ニ依リ、得ル處極メテ大ニシテ、概ネ所期ノ目的ヲ達シ得タルモノト認ム

昭和十九年度粗患予修業兵検閲計画

第三一六部隊

猛烈ナル敵ヲ掃蕩シテ發露ニ出ズ諸勳ヲ示シ射撃ノ本旨ニ基キ粗患予トシテ射撃ノ要領ニ就キ其ノ成績ヲ檢シ進歩發達ヲ促スニ在リ

日時 一月二十二日 午前八時 場所 中地巴(小笠原東南約七〇〇米附近)

種別	所要時間	前記	備考
基本射撃動作 (標準射撃手) 一般射撃(連射) (分隊内相違予)	30'	一 全現 二 隊形維持ヲ示ス 三 主として射撃ノ姿勢トス 四 射撃ノ要領ハ教官指示ス 五 交換者トシテ	一 標準射撃ノ個人使用彈ハ五發トス 二 射撃勳勞及射撃部隊トシテ上回隊ヨリ左記ニ方 ヲ差出シ前回少尉ノ指示ヲ受ケルニ在リ 三 下士官 四 補射官 五 前田少尉
初年兵第一回會	30'	一 交換者トシテ 二 隊形維持ヲ示ス 三 主として射撃ノ姿勢トス 四 射撃ノ要領ハ教官指示ス 五 交換者トシテ	一 標準射撃ノ個人使用彈ハ五發トス 二 射撃勳勞及射撃部隊トシテ上回隊ヨリ左記ニ方 ヲ差出シ前回少尉ノ指示ヲ受ケルニ在リ 三 下士官 四 補射官 五 前田少尉
初年兵特別射撃 第一回會	130'	一 交換者トシテ 二 隊形維持ヲ示ス 三 主として射撃ノ姿勢トス 四 射撃ノ要領ハ教官指示ス 五 交換者トシテ	一 標準射撃ノ個人使用彈ハ五發トス 二 射撃勳勞及射撃部隊トシテ上回隊ヨリ左記ニ方 ヲ差出シ前回少尉ノ指示ヲ受ケルニ在リ 三 下士官 四 補射官 五 前田少尉
初年兵第二回會	同	一 交換者トシテ 二 隊形維持ヲ示ス 三 主として射撃ノ姿勢トス 四 射撃ノ要領ハ教官指示ス 五 交換者トシテ	一 標準射撃ノ個人使用彈ハ五發トス 二 射撃勳勞及射撃部隊トシテ上回隊ヨリ左記ニ方 ヲ差出シ前回少尉ノ指示ヲ受ケルニ在リ 三 下士官 四 補射官 五 前田少尉
初年兵特別射撃 第二回會	同	一 交換者トシテ 二 隊形維持ヲ示ス 三 主として射撃ノ姿勢トス 四 射撃ノ要領ハ教官指示ス 五 交換者トシテ	一 標準射撃ノ個人使用彈ハ五發トス 二 射撃勳勞及射撃部隊トシテ上回隊ヨリ左記ニ方 ヲ差出シ前回少尉ノ指示ヲ受ケルニ在リ 三 下士官 四 補射官 五 前田少尉
初年兵特別射撃 第三回會	同	一 交換者トシテ 二 隊形維持ヲ示ス 三 主として射撃ノ姿勢トス 四 射撃ノ要領ハ教官指示ス 五 交換者トシテ	一 標準射撃ノ個人使用彈ハ五發トス 二 射撃勳勞及射撃部隊トシテ上回隊ヨリ左記ニ方 ヲ差出シ前回少尉ノ指示ヲ受ケルニ在リ 三 下士官 四 補射官 五 前田少尉

備考 一 雨天及戦場下等場合ノ実施ニ関シハ別令ニ
ニ 本計画ノ時間ハ各移動時間ヲ含ムモノトス

第五教令

- 一 標旗彈藥使用分配ノ假想トスルコトヲ得使用ノ関シテ其ノ都度示ス
- 二 戰備乙以上ノ場合ハ演習ヲ中止ス
- 三 本演習間警報命令情報報告ハ「演習」ヲ行フ

第六其他

- 一 演習実施ニ関シ一月六日一四〇〇本部ニ於テ打合セラ実施スルニ付補助官ハ集合スヘシ
- 二 演習終了後講評ヲ行フ日時ハ別ニ示ス

人員 本日ノ人員大隊長以下一五二名(行方不明者)軍六八

一月十七日

於北大東島

- 一 全員陣地構築作業
- 二 被服検査(第二回) 附 〇. 〇
- 三 別紙計画ニ基キ昭和十九年度租税手修業矢檢閱ノ實施

陸軍中尉 白崎 足一

演習見學ノ者トシテ泊ニ日ノ予定ヲ以テ南大東島ニ出張シ
命令ス 出發日時ハ別命令ス
人員 本日ノ人員大隊長以下一〇三二名(行方不明者)軍六八

一月十七日
於北大東島
演習見學ノ者トシテ泊ニ日ノ予定ヲ以テ南大東島ニ出張シ
命令ス 出發日時ハ別命令ス
人員 本日ノ人員大隊長以下一〇三二名(行方不明者)軍六八

- 一 全員陣地構築作業
- 陸軍准尉 山崎 茂實
- 陸軍中尉 白崎 足一
- 陸軍中尉 水田 健太郎
- 陸軍中尉 大塚 十郎

陸軍伍長

中川正敏

同

同

石井又次
細田幸男
坂口禮忠

轉屬要員トシテ南大東島ニ嚮向ヲ命ス
依而明十八日大東丸ニ依リ出發スヘシ

二別紙計畫ニ基キ第六期島内陣地巡視ヲ實施ス

三別紙計畫ニ基キ昭和十九年度瓦斯修業兵檢閲ヲ實施ス

四第六期戰備之關スル指示中教育演習實施日時ヲ凡

通り變更ス

花 記

十九日ヲ二十日ニ

二十一日ヲ二十二日ニ

情電

ノ沖繩本島南端基美ノ八ノ度ニ。新海上ニ敵潜水艦ヲ見ス
ス。ノハ。台湾北却地ニ空襲警報発令。ガラン
ノ敵機未獲

昭和十九年度瓦斯修業兵檢閲計畫

昭三〇一七
徳永部隊

目的	日時	場所	備考
瓦斯手トシテ嚴肅ナル瓦斯軍紀ノ下敵ノ瓦斯使用ヲ制止ト共ニ之ヲ使用ニ對シテ機ヲ失セズ對應處置ヲ講ジ得ル能力ヲ檢シ以テ今次作戰ニ順應セシムルニ在リ	一〇月二十三日至一〇月三〇日	東地兵舎附近	
軍容検査 並ニ 卒科試問	15, 10		一 全隊同時ニ實施ス ニ 場所 本陣全隊 三 隊形其ノ他ハ教官ノ指示ニ依リ示スヘシ
基本防護 ①各個防護 ②資材防護	50, 40		ニ 補助官 前田 少尉 (助手) 吉 少尉 杉本 中尉 近藤 曹長
基本防護 ①制毒(機毒地域) ②晒粉制毒 ③草刈制毒	50, 40		ニ 補助官 前田 少尉 (助手) 吉 少尉 杉本 中尉 近藤 曹長
対化行動 ①瓦斯搜索 ②瓦斯警戒	20, 30		ニ 補助官 前田 少尉 (助手) 吉 少尉 杉本 中尉 近藤 曹長
備考	一 荒天及戰備乙以上下令セラルル時 即チ中止ス		

第六期島内巡視計画

昭二〇、一、一七
復永龍隊

第四期以降着手せる陣地並ニ完成陣地 本期は於テ時ニ要求せる陣地増強程度ヲ
檢シ戰鬥準備ノ完壁ヲ期ス

考 備	24日			25日			26日		
	時	刻	巡視地区	時	刻	巡視地区	時	刻	巡視地区
一 各隊長ハ前回巡視後ハ於テ増強程度並ニ第六期指示甚ク領域進 歩状況ニ對シテ圖章ニ記述セラル 二 巡視ノ着眼 三 前回巡視以後ニ於ケル陣地ノ完成並ニ増強程度 四 第六期戰鬥準備ニ關スル指示ニ基テ陣地ノ進歩状況 五 巡視計畫ニ基キ計畫並ニ實施セル事項 六 現地自活ノ状況 七 巡視順序ハ各地ニ隊長(重火器隊長ト協定)上ニ決定前日會報 八 時近ニ筆記報告スベシ 九 附屬部隊ハ地区別ニ就キ各地ニ隊ト同時ニ實施ス	一〇	〇〇	西地区	一〇	〇〇	中南地区	一〇	〇〇	東地区
	一一	三〇	西地区	一一	三〇	中南地区	一一	三〇	東地区
	一二	〇〇	西地区	一二	〇〇	中南地区	一二	〇〇	東地区
	一三	〇〇	西地区	一三	〇〇	中南地区	一三	〇〇	東地区
一 隨行官 副官 森本中尉 古田少尉 六天聖計少尉 杉原軍医中尉 藤川曹長トス 二 独立小隊長以上ハ見送テスルモノトス 三 巡視當日ハ平常通りトシテ工事ヲ続行スルモノトス 四 西南・東地区ハ當日隨行官ノ書面指示ヲ準備スルモノトス(兵食ニテ可) 五 服裝ハ各服装トス 六 講評日時ニ關シテハ別命令ス 七 本計画ハ戰備乙以上下令時及荒天ナル時ハ変更ス	一四	〇〇	東地区	一四	〇〇	東地区	一四	〇〇	東地区

三〇九〇〇 廣東地区五機 香港 グラマン機 四機
 内外來襲中 (以上單機)
 二ノ一昨十四日B29約五機成却ヨリ台湾ニ來襲ス

飛行場ヲ攻撃

本十五日。九〇〇。台湾 高雄 台南 台中ニ各一機ニ
 機來襲セリ

本十五日敵機動部隊ハ高雄基吳南々西ヨリ軒ヨリモ
 ノ、如シ

三ノ敵ノ機動部隊ニ對シテハ補助艦ヲ増強シテ續々台湾東
 方及南支那海ヲ遊スルヨリ方面ノ作戰ヲ支援スル
 共ニ在支米空軍ト兼應シ南西諸島方面ノ攻撃ヲ
 再行スル公算大アリ

人員 本日ノ人員大隊長以下一〇三三名(行方不明二名)單六八

一月十八日
 於此大東島
 行 事ニ轉出者送別會 二二〇ヨリ 二大莊ニ於テ行フ

須日命一

自一月十日
自一月十四日
自一月十七日

陸軍中尉 多田 薫
陸軍准尉 村田 節吉

人員

頭書問巡察官ニ服務スヘシ
本日ノ人員大隊長以下一〇三ニ名(行方不明三)軍大八

一 全員陣地構築作業

須日命

一 一月十五日 命令第三項白崎中尉ノ出張ハ取止ム

二 被服検査簿評別母一如シ

人員

本日ノ人員大隊長以下一〇三ニ名(行方不明三)軍大八

一 全員陣地構築作業

須日命

二月例身体检査

二 連絡船

鳴丸 〇。八〇。岩港 飯港 一七〇〇
大東丸 一三〇〇。入港 岩港 一五〇〇

竹林大尉隊 轉属者中村中尉以下九名各長官會見發又

被服検査査講評

中隊長以下下士官ノ熱心ナル努力ニ依リ被服ノ狀況ハ概テ良好ニ保持セラレタルモノト認めルモ細部ヲ逐メバ左ノ如キ欠点アリ是ヲ改善整頓スルヲ要ス

二 善類

一 概テ整理不充分ニシテ各種許容表及連絡簿ノ字簿等ヲ複製シ置道ヨリ是等諸簿更ノ印改メ封緘ニ封スル莫施記入ノ無キ隊マレハ適當ナラズ 但シ本団隊ノ良好ナルモノ各小隊ノ報告書記ノ面ヲ見ス

三 編上靴ニ就テ

全般ニ修理完全ニシテ程度ハ概テ良好ニ保持セラレタルモノと認めルモ予入不充分ナルモノ多シ 前期多量ナル時期等ノ更ニ予入ヲ実施スルヲ要ス 不踏部ハ靴ノ保存命数ヲ延スルモ重要ナル補修ナルモノハ陣地構築作業時等同匙ノ使用ニ際シテ該部ニ押込メセラレテ予入程度又他隊ニ比シテ良好ナリ 竹林隊ノ予入不充分ナルモノ等修理用品多量ヲ入適當ナラズ 松田隊ノ水洗度甚シキ感マリー留置スルモノ多シ

三 地下足袋ニ就テ

程度ハ概テ不良ニシテ予入程度ハ甚モ低個人修理実施セサルモノアリ 予入ノ性質上小破ト云モ其ノ儘ニ使用セシメ知覚度ニ達スル大破ノ跡ニ使用不能ニ至ルヲ以テ小破隊個

人修理ニ努メ水際歩行時世帯ヤレテ感銘シ充分發護使用スレヲ要ス
尚又コトハモシ落夫ノ儘使用シ居ルモノ上敷代用ノ如ク敷掛ト使用シタル形取ヲ認ムル
ノアリ 前者ハコトハモシ代用種ヲ後者ハ充テ押入シタル後穿用セシムル如ク教育指道
ヲ要ス 但シ上田隊ハ隊員ハ個人修理シテ全ク實施アリテ程度又概テ良好ナリ
竹林隊ハ最下装束モ在座トモ又極リ個人修理ニ努メ徹底的使用シ上敷品
ノ發護ニ留意スレヲ要ス

四、鐵帽ニ就テ

鐵帽ハ平時戰西用ニシテ在滿時使用セシ該品ヲ携行シタメ紐ノ破損セルモノ多ク之
ヲ補修材料皆無キモ現在創意工夫ニ依リ紐ノ複製ニ努リ早急ニ整備シ置
クヲ要ス 有時ニ際シ使用不能ニシテ不意ニ取ルル如キ事トキヨク留意スルヲ要
ス 本田隊 日清隊 日野分隊ハ良好ニシテ酒井隊ハ紐切損ノ儘放置シタルモノ多ク
アリタルト適宜留意ス

五、ハ維形熱地用天幕ニ就テ

一隊ニ程度良好ナル天幕ニ格別ニ注意シテ濕氣ヲ含ムモノアリ早急ニ乾燥スルヲ要ス
六、被褥ニ就テ

手入一隊ニ可ナルモ収在履履表裏同傷甚重ニ各人ノ類シ入シタル下ニ於テ
等實施シテラサレモノアリ 保存命及長ヲ計ル可ク極力上記ノ如キコト無キヨク留意
ナリ 日清隊 日野分隊ハ中々モ手入不良ナルモノ多ク注意スルヲ要ス

七、飯盆

一隊ニ手入良好ナラスハ砂埃等干葉ヲ長ク入レ置キタルカ爲テ茶箱ヲ見ルニモ
飯盆ノ汚ラレモノアリ 保存命及長ヲ計ル可ク極力上記ノ如キコト無キヨク留意
ナリ 日野分隊ハ手入良好ナルモノト認ム

八、履袋

一隊ニ手入良好ナルモノト認ムラレモ縫着レテ使用シタルモノアリ速ニ原形ニ復シ
使用スルヲ要ス

九、輕防ニ就テ

一隊ニ手入格納ノ狀況ハ良好ニ保持セラレタルモノト認ムラレモ輕防ノ性質上常
ニ点檢ヲ怠ラス常ニ乾燥シキクヲ要ス 本田分隊ハ濕氣ヲ帶ビタルモノ若干認ム
速ニ乾燥シ置クヲ要ス

十、全防ニ就テ

一隊ニ手入ハ良好ナルモノト認ム要テ修理品ハ他ノ被服ト異リ個人修理ヲ不適トセル
部位ニマルニ付修理箇所ヲ察見セハ速ニ連絡シ之ヲ補修ニ加カムヘシ
二、履袋 縫着下ニ就テ
一、靴ニ補修手入ノ狀況ハ概テ可ナルモ速ニ連絡シ之ヲ補給ノ期シ得ラレ又現況ナルヲ感銘シ
之ヲ發護發用スル層ノ留意スルヲ要ス

平日命

一

陸軍中尉

中村良雄

師團司令部勤務ヲ命ス

須日命一

陸軍少曹

奈良一節

部隊本部ニ出張ヲ命ス依而本三日大東丸ニ依リ出張ス
スヘシ

二

陸軍一等兵

干代間忠雄

業務連絡ノタメ平日ヨリ一泊ニ専断是ヲ以テ部隊本部ニ
出張ヲ命ス 依而本三日大東丸ニ依リ出張スヘシ

三 須日命第十一号第一項ノ者ノ出張日時ヲ本三日ニ變更ス

四

免 陸軍曹長

戸田政治

命 同

赤井喜市

免 同

立川大作

命 陸軍少曹

佐々木一三

頭書ノ通り分任官陸軍主計少尉大矢知正所屬複命任
官ヲ免命ス

情電

人員
所見

五梯測中將ハ十二日附第三十四軍司令官ニ榮稱ヲシテ
後任ハ台湾憲兵司令官納見敏郎中將ナリ
一昨十九日一〇〇〇敵機動部隊ノ位置ハ台湾高雄南西
約四五〇軒ニアリ
本日ノ人員大隊長以下一〇〇名(行方不明者)軍六八
本日中村中尉以下ヲ見送り惜別ノ情ニ堪エザルニ北島ノ守リ
嚴トシテ糧ヲ必勝不敗ノ信念ヲ強化セリ

一月三十一日
於北大東島
行事

作命

一 全員陣地構築作業
二月例身本検査 〇
三 船團 本島入港一 (海軍偵初積載)
南島入港ハ
北地作命令中第一等
北大東島地区隊命令
一月三十一日一三一九
一 海軍機ノ偵察ニ依レバ昨二十日一七〇〇高雄南々東三島
ニ敵機動部隊アリ北上中ニシテ南西諸島攻撃ノ度動シ

平日命

一 第二大隊 陸軍中尉 小高盛之助
第六中隊 陸軍少尉 吉市秀雄
各頭書ノ隊附ヲ命ズ(二日三日程)
陸軍少尉 奈良一即
取隊本部附ヲ命ズ
一 砲 陸軍中尉 中村良雄
陸軍少尉 吉市秀雄
各頭書ノ通照和十九年度作業手教育教官ニ命ズ
一 近日中ニ部隊長此地已ヲ巡視セラル 敵而別紙ノ通心
得ヘシ

類日命

消息

1. 本五上日二。戰備ヲ了テ移行ス
 2. 大東島守備隊長
 3. 敵機初部隊大東島地区ニ進入ノ虞アリ
 4. 敵機初部隊大東島地区ニ進入ノ虞アリ

北大東島地区隊長 北大東島地区隊長

1. 敵機初部隊大東島地区ニ進入ノ虞アリ
 2. 敵機初部隊大東島地区ニ進入ノ虞アリ
 3. 敵機初部隊大東島地区ニ進入ノ虞アリ

北大東島地区隊長 北大東島地区隊長
 北大東島地区隊長 北大東島地区隊長

人員
 北大東島
 北大東島

本日ノ人員大隊長以下下等 右行系明(三)年六ノ
 一、全員陣地構築作業
 二、昭和十九年度但妻手教育検閲ノ實施ス

部隊長北地区巡視行動計畫

頃永部隊

日時	刻	時間	行動	細部指示
10:00	10'	10'	移動	一、各隊長。九三。準頭ニ集合出立ノ 二、服装單服ノ服装 銃携行略綫佩用 三、隨行官南島中隊長以下數名 四、準頭一小學校(自動車三)
10:10	10'	10'	訓示	一、各隊長以下下等 二、各隊長以下下等 三、各隊長以下下等 四、各隊長以下下等
10:30	30'	30'	偵察	一、各隊長以下下等 二、各隊長以下下等 三、各隊長以下下等 四、各隊長以下下等
10:50	10'	10'	休息	一、各隊長以下下等 二、各隊長以下下等 三、各隊長以下下等 四、各隊長以下下等
11:00	0'	0'	北地区北岸地	一、各隊長以下下等 二、各隊長以下下等 三、各隊長以下下等 四、各隊長以下下等

考 備	日			
一 本計画ハ都合ニ依リ変更スルコトアリ 二 巡視日ハ海象ノ都合ニ依リ決定セラル	一五〇〇	一四五〇	一三〇〇	一三〇〇
		1°50'	30'	1°3'
西埠頭登	將校教育		晝 (休 給食)	西四ノ北岸地帯 視 二 角 砲 隊 行 進 中
一 將校全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 二 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 三 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 四 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 五 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 六 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 七 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 八 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 九 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 十 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ	一 埠頭前ニ大砲火を聞 二 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 三 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 四 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 五 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 六 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 七 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 八 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 九 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 十 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ		一 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 二 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 三 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 四 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 五 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 六 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 七 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 八 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 九 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 十 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ	一 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 二 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 三 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 四 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 五 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 六 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 七 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 八 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 九 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ 十 砲隊全員ヲ埠頭ニ集ルコト見送リ

情 電

昨ニ工日敵機動部隊ニ群 台北東南方ニ五〇斤丁ヲ
 認メス 各郡ノ間ハ新
 本ニ工日ハ数度ノ攻撃ヲ開始ス

作 命

北地作命甲第百號
 北大東島地区隊長令 一月二十三日一〇三〇
 一 本ニ工日一〇三〇大東島地区内警戒戦備下令セラル
 二 地区隊長ハ電命ニ依リ一〇三〇丙警戒戦備ニ移行セトス
 三 各隊ハ一〇三〇丙警戒戦備ニ移行スヘシ
 四 余ハ地ノ澤ニ在リ

情 電

北大東島地区隊長 須永少佐
 一 二十三日一〇三〇南大東島ニ於テ敵潜水艦一機ハ相互
 交信ノ判断シラレ 英語ノ電文ヲ聴取ス感度強ク
 敵ノ通信機ニ要
 一 二〇〇〇トシ 三折一系
 二 飛行機ヨリ潜水艦ニ對スル偵察報告ヲラシ
 三 現在四八〇斤(ア)通過等ノ外明瞭ナラス

考 備	日			
	一五〇〇	一四五〇	一三〇〇	一三〇〇
一 本計画ハ都合ニ依リ変更スルコトマリ 二 巡視日ハ海象ノ都合ニ依リ決定セラル		1°50'	30'	1°3'
	西平頭登	將校教育	書 (休 組心) 食	西平頭登 巡視
	一 將校全員、幹部ニシテ示合見送り 二 服装ハ早稲ノ早装トス	一 將校全員、幹部ニシテ示合見送り 二 服装ハ早稲ノ早装トス	一 湯前ニ大出陣 二 本隊、幹部、將校全員 三 本部隊ハ指示ヨリ付隊ニ於テ進出(6 時大)	一 湯前ニ大出陣 二 本隊、幹部、將校全員 三 本部隊ハ指示ヨリ付隊ニ於テ進出(6 時大)

消息

昨二三日敵機動部隊三群 台北東南方ニ進出ス
 砲火 各隊ノ間入射
 本二三日ハ敵機ノ攻撃ヲ開始ス

作 命

北地作命甲第百號
 北大東島地区隊命令 一月三十一日
 一 本三十一日一〇時北大東島地区丙隊戦備下令セラル
 二 地区隊ハ命令ニ依リ一〇時丙隊戦備ニ移行セラル
 三 各隊ハ一〇時丙隊戦備ニ移行スヘシ
 四 余ハ地ノ邊ニ在リ

消息

北大東島地区隊長 獲永少佐
 一 三十一日一〇時北大東島ニ於テ敵潜水艦一隊機一四五
 二 交信ノ判断ヨリ英艦一隻又ニ襲撃スル虞アリ
 三 敵ノ進出ニ要
 四 一〇時一〇分一隊一隊
 五 飛行機ヲ潜水艦ニ對シテ襲撃セラル
 六 現在四八〇軒(一)通過寺ノ外明瞭ナク

頃日 命一

二二二日 一五〇。沖大東島上空ヲ旋回中
陸軍 曹長 兼 谷嘉英

須永初隊ノ配屬ヲ解ク依而本三二日海軍機阻船ニ依リ
出發原所屬ニ復歸スヘシ

二月十七日 命令第四項別紙中瓦斯檢閲補助官古市
少尉トナルヲ松田中尉ニ變更ス

二月十七日 命令第五項中島山巡視隨行官古市少尉ヲ
小高中尉ニ變更ス

作 命 北地作命 甲第上號

北大東島北地已隊命令 一月三十一日 一七〇。 澤

- 一 敵機動部隊近接ノ微シシ
- 二 守備隊八一七〇丁號戰備ニ移行セリ
- 三 北地已隊ハ丁號戰備ニ移行セントス
- 四 各隊八一七〇ヲ以降丁號戰備ニ移行スヘシ

昭和十九年度 檢閲講評

昭和十九年度 須永 部 隊

原隊員ノ
一 不規則な姿勢の修正及び好ムルモ意各ニ指法教習の苦若干アリ
二 訓練の徹底を期スル可シモ定以テ之ヲ得依リ左ノ不自然ナ
ル者アリ

須永 部 隊

訓練の徹底を期スル可シ

但し訓練の徹底を期スル可シモ定以テ之ヲ得依リ左ノ不自然ナ
非ラザル者アリ

基本射撃動作

射撃動作は従不迅速ニシテ可クモ操縦ノ際列隊ノ整段ノ整方規
定ニ合ハル者或ハ右ノ手ヲ握リ受ヘル者若干アリ

射撃教練

一 隊ニ彈ノ敵心中ノ氣魄ニ乏シ

須日令一

一二月十二日 一五〇、沖大東島上空、旋回中

陸軍曹長

藤谷嘉夫

須永初原、肥馬ヲ解ク、依而本十三日海軍機務部ニ依リ

出發原所屬ニ復歸スヘシ

二月十七日令第四項別紙中、瓦斯檢閲補助官古市

少尉トナルヲ、松田中尉ニ變更ス

二月十七日令第五項中、島田巡視隨行官古市少尉ヲ

小高中尉ニ變更ス

四隊和十九年度要務手教育檢閲講評別紙、通リ配布ス

作 今 北地作令甲第上號

北大東島北地區隊令令

一月十三日 北地 一五〇

一、敵機動初疎近接ノ微シシ

準備隊ハ一七〇。丁號戰備ニ移行セリ

北地區隊ハ丁號戰備ニ移行セントス

各隊ハ一七〇。以降丁號戰備ニ移行スヘシ

昭和十九年度

檢閲講評

須永初原

北地作令

一、不動ノ姿勢ガ、急流不良好ナルモ、選答ニ稍活氣ヲ故ク者若干アリ

二、首級ハ、極テ堅牢ニシテ可ナルモ、被甲ノ、呼吸器依リ左手ノ、不自然ナ

少者アリ

學科試問

試問一、一隊ニ可ナリ

但シ、引鐵ノ、引方ヲ誤解シテ、兵アリ亦狙撃手ノ任務ヲ把握シ

非ラザル者アリ

基本射撃動作

射撃動作、銃ヲ任意ニシテ可ナルモ、接鏡ノ際、引鐵ノ、筆段ノ、塵ヲ、規

定ニ合セサル者、或ハ右手ヲ、極リ變ヘル者若干アリ

檢閲教練

一、隊ニ彈一發必中ノ氣、頗ニ乏シ